

2021(令和3)年

# ゆめじゅく

〒792-0821 新居浜市瀬戸町7-30  
TEL : 0897-41-5859 (Fax 兼用)  
E-mail : seto@city.niihama.lg.jp

## 9月の予定

★ゆめじゅく編集委員会 6日(月) 13時30分~	★人権のつどい日 11日(土) 10時~11時30分	月 日 曜 日 直
★移動図書館青い鳥号 8日・22日(水) 14時~14時40分	★人権・同和教育関係行事 2日(木) 隣保館長等研修会(リモート配信)	
★回転木馬 8日(水) 10時~		

### 四国ブロック隣保館女性職員研修会開催

四国ブロック隣保館女性職員研修会がリモート配信で開催され、NPO レインボープライド愛媛代表のエディ氏による「人権課題としての性的マイノリティ 同性愛・性別違和について」の講演がありました。

最近「ノンバイナリー=中立の性別」という言葉を耳にしたり、オリンピックの代表である170名近くの選手がLGBTQをカミングアウトしたり、マスメディアや社会の関心も高まっています。

しかし、日本のスポーツ界では、カミングアウトの例はまだ少なく、不安を口にすることも多いようです。改めて今回当事者の方の話を照らし合わせて聞くと、社会の理解は広がりつつありますが、海外と比較すると日本はかなり理解が遅れており、まだまだ住みにくい世の中だということを感じました。自分の周りにいないのではなく、知らないだけかもしれません。

みんな違って当たり前、多様性を受け入れ、誰もが認め合える社会になれば…と講演を聞いて今まで以上に強く感じました。

## 地元からのお知らせ

### 自治会館建設に向けて

2019年2月に会長他15名の委員で自治会館建設委員会が発足し、今日まで8回の協議を重ねてまいりました。私たちの共有財産として、その利用価値を次世代に引き継いでいけるものにするため、地元の皆さんの集いの場として利用価値の高いものにしたいと考えています。

そのためにも高齢者の皆さんや子どもたちにとっても使いやすい場所、入りやすい場所にしなければなりません。

自治会館は住民の皆さんの積極的な住民参加を促し、住民間の連携を大切にしながら、昔ながらのお互い様、助け合いを醸成しスムーズな自治会運営の一助となり得ることと思っています。今後とも自治会館完成に向けて、温かいご支援をいただきますようお願いいたします。

瀬戸・寿連合自治会

## 人権のつどい日

8月の「人権のつどい日」は、「誰のために差別をなくすのか？」の演題で、人権啓発指導員の鴻上基志さんにお話ししていただきました。差別問題の解消のためには、「差別問題を自分の問題として捉える」ことがとても大切です。鴻上さんは「自分自身のこと」をありのままに語ることを通して、「差別問題を自分のこととして捉える」機会を提供してくださいました。

ある時、大切な存在であり、信頼していた方から「部落の者とは友達になってはいけない。」と言われました。「差別ってあかんことやないん？」と何度も尋ねましたが、納得できるような答えは返ってきませんでした。そして、信頼していた方が差別者だったという刃が、ずっと胸に刺さって抜けなくなりました。

教員になり、「身近な人の差別性に背を向け生きてきた自分に、子どもたちを差別問題に向き合わせる資格があるのか？」と悩んでいる中、ある方との出会いをきっかけに、「大切な家族だからこそ、差別があかんということを分かってほしい。」という思いに辿り着くことができました。それからは、機会を見つけては、その方と差別の不合理さについて話を続けました。そしてある日、「自分が間違っと思ったのかな。」と、ポツンと言ってくれたそうです。それでも、差別の刃は鴻上さんの胸から抜けなかったそうです。

病との懸命な闘いの末、その方が亡くなった時、初めてその存在の大きさと大切さに気づき、自分の胸に刺さり続けていた差別の刃が、一瞬にして抜けたそうです。しかしそれと同時に、悔やんでも悔やみきれない後悔の念が鴻上さんを襲いました。

「差別は誰かから刷り込まれたものであり、それに縛られていただけだった。だからこそ、差別に縛られた自分を解放することができたその方を、今は誇りに思っている。そして、差別者だと勝手に決めつけ、反発し、距離を置き続けた自分もまた差別に縛られていた。差別がなければ、もっと多くの思い出をその方とつくることができた。差別があって、幸せになる人はいない。差別は、誰かのためにではなく、自分のために解決する問題である。」と鴻上さんは熱く語ってくださいました。

「誰のために差別をなくすのか？」ということも鴻上さんのお話から、知識や理屈ではなく、心で学ばせていただきました。



# おばあちゃんが教えてくれた とても、とても、大事なこと

吉井鈴さんの『おばあちゃんが教えてくれたとても、とても、大事なこと』という本の一部を紹介します。

## 「何事も過ぎたら……」

- 言い過ぎたら、ケンカになる。
- 食べ過ぎたら、お腹が痛くなる。
- がんばり過ぎてもしんどくなる。
- さぼってみたい、手抜きしてしまったら、後でしんどくなる。
- 道を行き過ぎると、戻らないといけなくなる。
- 可愛いからと甘やかし過ぎたら、あとで困ることになる…
- おばあちゃんがいつも言っていた。

「お湯加減みたいに、熱すぎず、ぬるすぎずね。」と。

## 「おばあちゃんの教え ～“目”編～」

- “目が早い” 早く気がつき、気の回る人に。
- “目を留める” 人の気持ちや痛みのわかる人に。
- “目を止める” 困っている人がいたら、立ち止まって声をかけて。
- “目を向ける” ちょっとしたことにも気づける心を持って。
- “目をそらさない” イヤなこと、苦手なことから逃げないで。

今の世の中、あらゆる面で便利になってきて、“足りないもの”がなくなってきている一方で、失われてしまっているものもあります。心と心が通じ合わなくなり、人を思いやる気持ちなど、“足りないもの”が増えてきているような気がします。そんな中、忘れかけている“大切なもの”をこの本は気づかせてくれます。



## 新刊紹介

新たに、2021年の本屋大賞『52 ヘルツのクジラたち』(町田そのこ 著)、2021年の本屋大賞2位『お探し物は図書室まで』(青山美智子 著)、製薬業界の光と影を描いた医療ビジネス・エンタテインメント『MR』(久坂部羊 著)、『ばあばは、だいじょうぶ』(楠 章子 著)の4冊の本を購入しました。

特に、『ばあばは、だいじょうぶ』は、小学生だけでなく、大人も泣いた10万部以上のベストセラー絵本で、映画化もされています。是非、ご一読ください。

8月16日より貸し出しを行っています。



# 瀬戸会館使用状況

令和3年8月19日現在

月	火	水	木	金	土	日
		1 水美会 空手	2 男の料理教室 紙バンド レインボーA ZUMBA エストレージャ	3 健康体操 ピンポン エストレージャ フラダンス	4 	5 
	6 すみれ べっぴんさん ピンポン fun	7 詩吟 ハンドメイド 若葉会 つまみ細工 ZUMBA フラダンス レインボーB 書神会 TDS	8 詩吟 水美会 空手	9 紙バンド レインボーA ZUMBA エストレージャ	10 健康体操 ピンポン エストレージャ フラダンス	11 人権のつどい日 ポーセラーツ 
13 すみれ べっぴんさん ピンポン fun	14 ハンドメイド 若葉会 詩吟 ZUMBA フラダンス 書神会 TDS	15 水美会 ポーセラーツ 空手	16 どんぐり 紙バンド レインボーA ZUMBA エストレージャ	17 健康体操 ピンポン エストレージャ フラダンス	18 	19 
20 	21 詩吟 ハンドメイド 若葉会 つまみ細工 ZUMBA フラダンス レインボーB 書神会 TDS	22 えひめ医療生協 水美会 空手	23 秋分の日 	24 健康体操 ピンポン エストレージャ 吟友連盟 フラダンス	25 ポーセラーツ 	26 
27 べっぴんさん ピンポン fun	28 詩吟 ハンドメイド 若葉会 ZUMBA フラダンス 書神会 TDS	29 水美会 空手	30 どんぐり 紙バンド レインボーA ZUMBA エストレージャ			

赤色：午前  
青色：午後  
黒色：夜間